

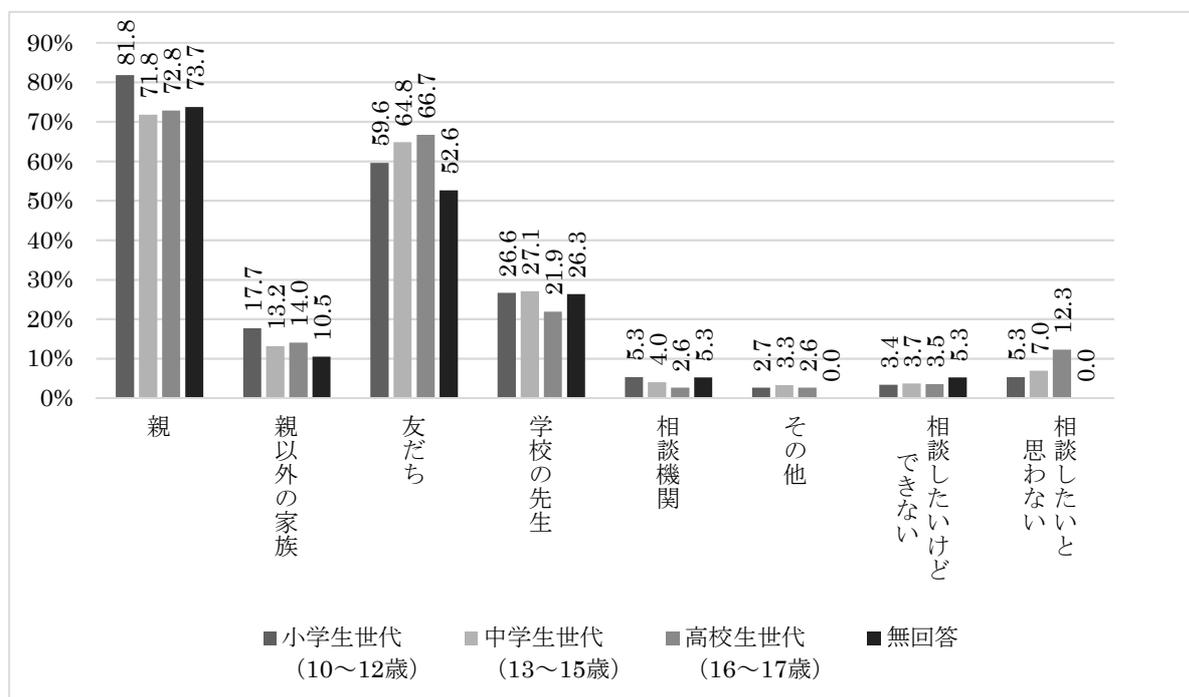
3 相談するところについて

(1) 相談する相手

【子ども：世代別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談するかをたずねたところ、全世代で「親」と回答した割合が最も高くなりました。

図 38 Q14 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。(複数選択可)
【子ども：世代別】 (％)



「その他」の回答について P. 67 参照
「相談したいけどできない」理由について P. 68 参照
「相談したいと思わない」理由について P. 68～参照

(2) 相談する場所

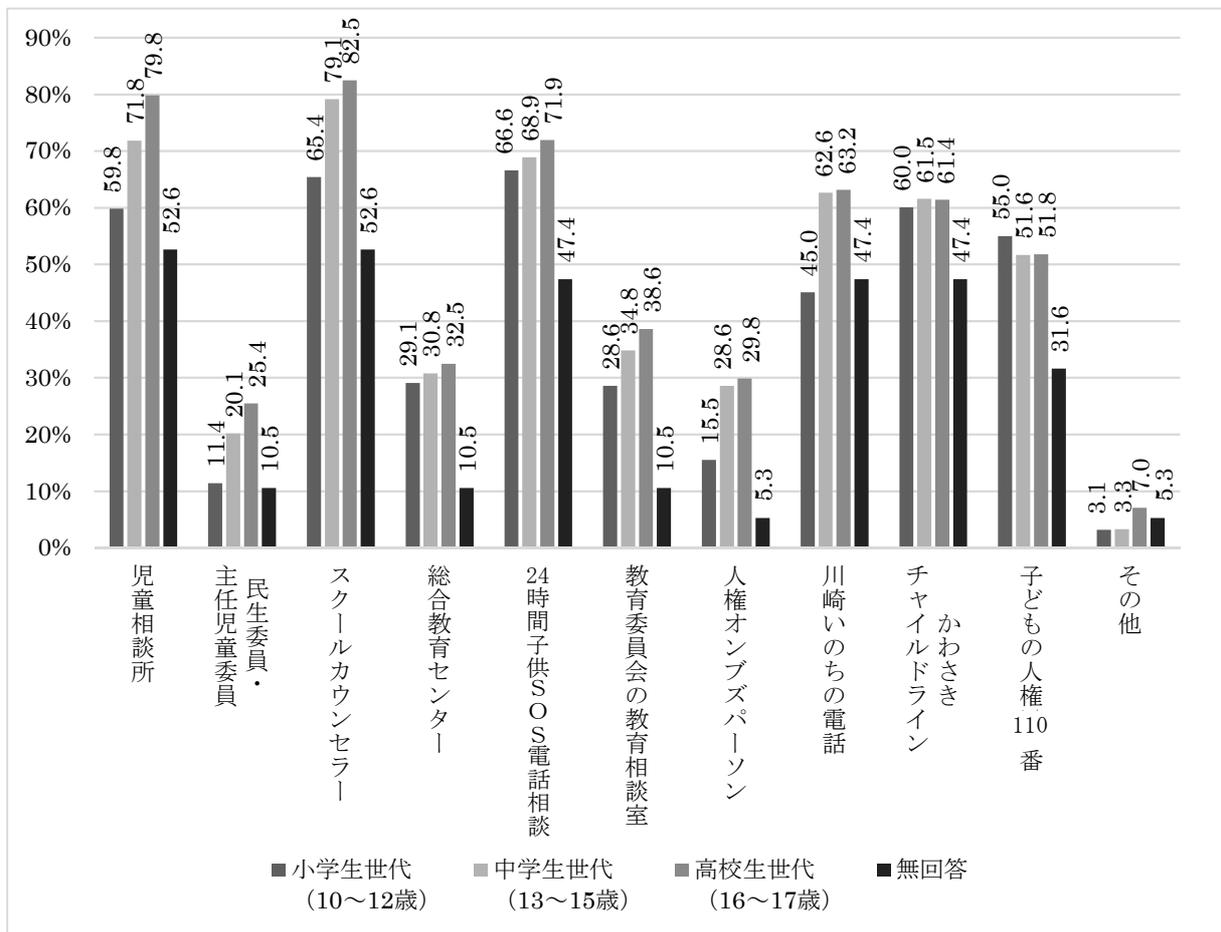
【子ども：世代別】

子どもに、知っている川崎市の子どもの相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）をたずねたところ、小学生世代は「24時間子供SOS電話相談」、中学生世代と高校生世代は、「スクールカウンセラー」と回答した割合が最も高くなりました。

さらに、実際に利用したところについてたずねたところ、どの世代も「スクールカウンセラー」と回答した割合が高くなりました。

（「利用したことのあるもの」回答についてはP. 69を参照）

図 39 Q15 川崎市には次のような子どもの相談を受けてくれるところがありますが、知っているところがありますか。（複数選択可）【子ども：世代別】 (%)

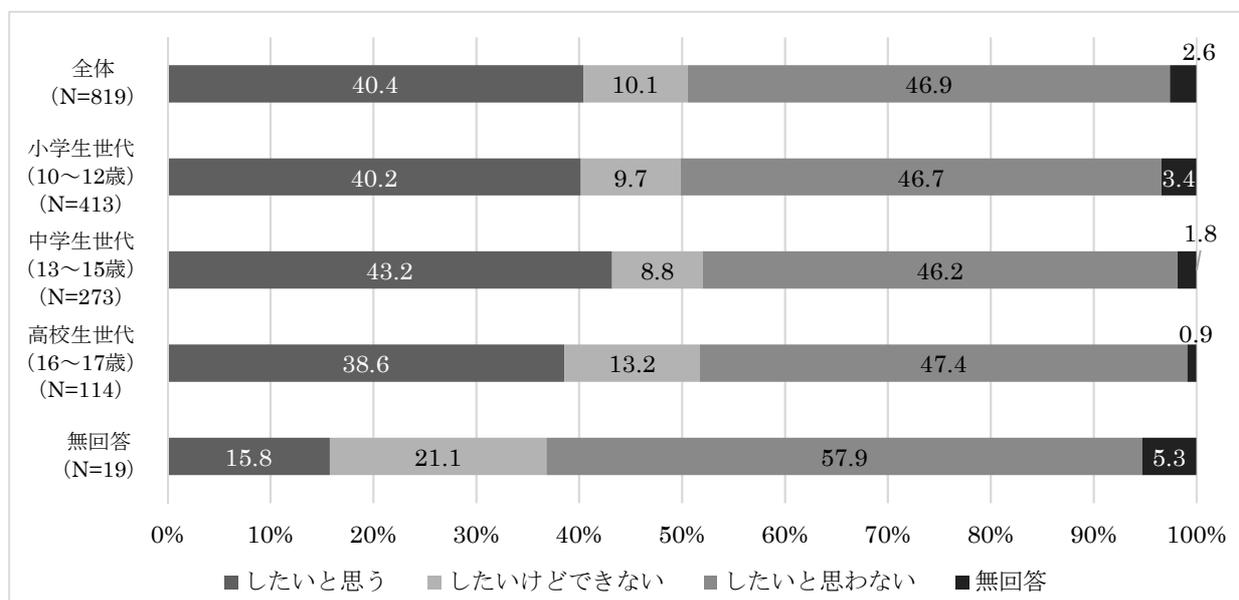


「その他」の回答についてP. 69参照

【子ども：世代別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、Q15のような相談・救済機関に相談したいかをたずねたところ、「したいと思う」と回答した割合は、小学生世代で40.2%、中学生世代は43.2%、高校生世代は38.6%でした。「したいけどできない」と回答した割合は、小学生世代で9.7%、中学生世代は8.8%、高校生世代は13.2%でした。（図はP. 30 図 40を参照）

図 40 Q16 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q15 のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。
【子ども：世代別】 (%)

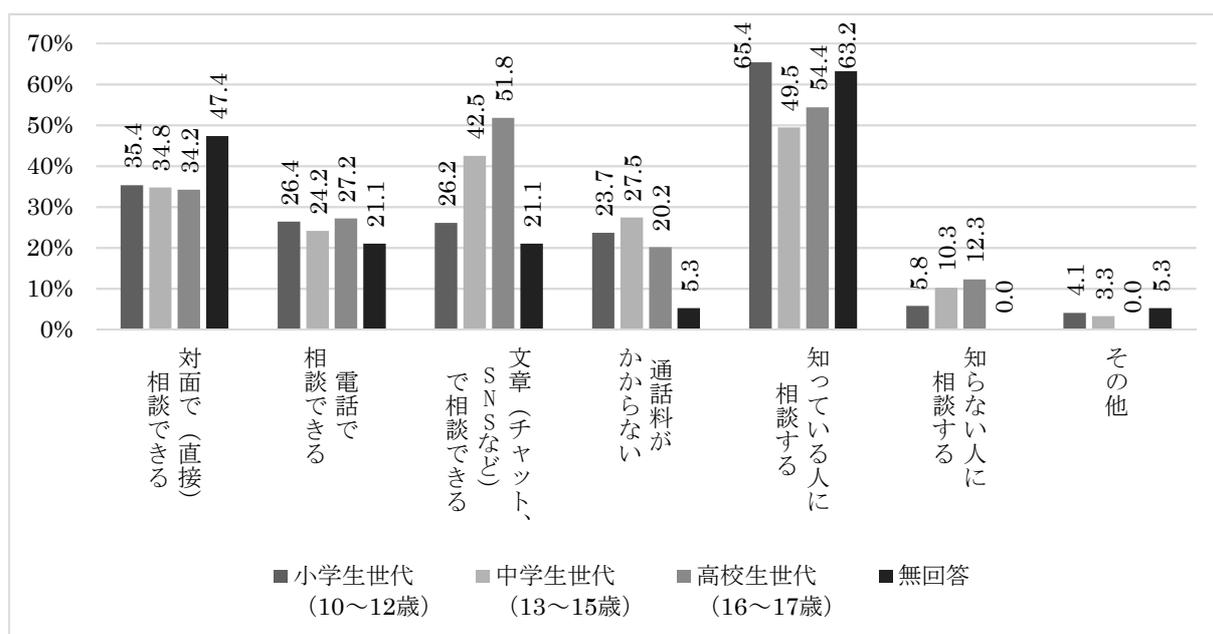


「したいけどできない」理由について P. 70 参照
「したいと思わない」理由について P. 71~参照

【子ども：世代別】

子どもに、どのようなところなら相談しようと思うかをたずねたところ、全世代で「知っている人に相談する」と回答した割合が多く、次いで小学生世代では「対面で（直接）相談できる」と回答した割合が最も高く、中学生世代と高校生世代では「文章（チャット、SNS など）で相談できる」と回答した割合が最も高くなりました。

図 41 Q17 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか（複数選択可）【子ども：世代別】 (%)

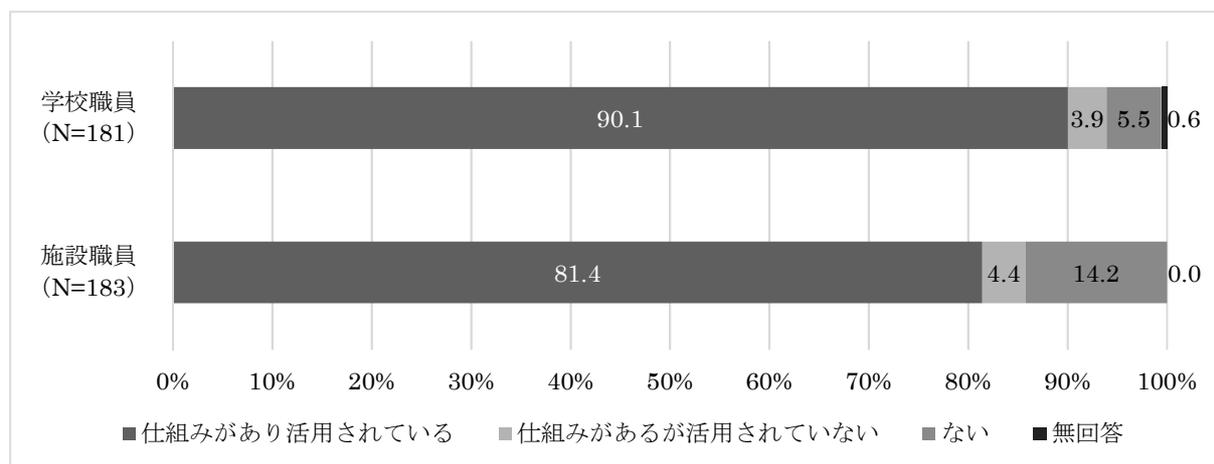


「その他」の回答について P. 72 参照

【職員：全体】

職員に、職場では、子どもが悩んだり困ったりしたときに、悩んでいる子どもの情報を職場で共有して対応を考える仕組みがあるかをたずねたところ、「仕組みがあり活用されている」と答えた割合は学校職員が90.1%、施設職員が81.4%でした。

図 42 Q9 あなたの職場では、子どもが悩んだり困ったりしたときに、悩んでいる子どもの情報を職場で共有して対応を考える仕組みがありますか。【職員：全体】 (%)



「仕組みがあり活用されている」と回答した具体的内容については P. 127～参照
 「仕組みがあるが活用されていない」と回答した活用されていない理由については P. 128～参照